



↑いつまでも若いなあ。これ、笠木さん!?

思い伝えよう

一緒に楽しみ、考え、

前回の笠木さんたちを迎えてのコンサートから5年が経ちました。この間に政治は大きくキナ臭い方向に舵を切りつつあります。過半数の国民が反対している特定秘密保護法や集団的自衛権の閣議決定など、紛争解決のために武力を使わないと決めた憲法9条の精神を壊し、なし崩し的に「戦争する国」に姿を変えていく、きわめて危険な動きを見せています。戦争を経験した世代の方からは「まるで戦前ようだ」という声も聞こえてくるのも当然でしょう。

憲法は、大きな力を持った国家権力が暴走しないように縛りをかけるものです。その立憲主義を一内閣の判断で都合の良いように変えてしまった今回の閣議決定には、護憲・改憲の枠を超えて大きな批判の声が出ています。

憲法12条に「この憲法が国民に保障する自由および権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない」とあります。誰か任せではなく、ひとり一人が考え、行動しなければ、取り返しのつかない事になるよ、という戒めでしよう。

笠木さんたちは憲法9条の素晴らしさを歌い続けてきました。今回も一緒に楽しみ、そして考え、思いを伝えられる、そんな有意義なコンサートになればと思います。

お誘い合わせの上、皆様ぜひお越しください。



### プロフィール

**笠木 透**さんは1937年生まれ、77歳。マスコミ等にはほとんど出ませんが、この道45年を超えるフォークシンガーです。岐阜県中津川市在住。

日本初の野外コンサート「全日本フォークジャンボリー」(1969~71年)を企画運営。生活や地域に根ざした“フィールド・フォーク”を提唱し、小さな町や村を中心にフォークソングの心を歌い続けてきました。

オリジナルは1000曲をこえ、自然への慈しみ、人への優しさ、そして自由や人権、平和の大切さを訴える歌の数々は全国の根強いファンに愛されています。2005年から「憲法フォークジャンボリー」を各地で開催、戦争はしないと決めた憲法9条を守ろうと訴えています。

2010年からは、憲法のほか日韓併合、大逆事件、非暴力、田中正造、東日本大震災をテーマにしたミニアルバムとエッセイを一つにしたCD文庫を定期的に発表するなど、老いて益々意欲的な活動を続けています。

**雑花塾**は笠木透と一緒に、コンサート活動・創作活動を続けているグループ。メンバーは10数名で、東北から九州と全国各地に点在し、それぞれが自分のペースで、自分なりのスタイルでうたを手作りし、歌い、伝え続けています。

今回メンバーの**増田康記**はグループのリーダーで、岐阜県郡上市在住。もう一人の**鈴木幹夫**は紀宝町阪松原の出身で、長野県松本市在住。

### SONGS

#### 九条の風

詩：笠木 透  
曲：佐藤せいごう

海を渡って行く 風にのせて  
私たちは うたを歌う  
すべての人に 届くように  
私たちは戦争を 放棄した  
\*戦争のない世界に 貧困はない  
戦争のない世界に 自由はある (中略)

海を渡って行く 風にのせて  
私たちは うたを歌う  
すべての人に 届くように  
私たちは九条と 生きていく  
\* (くりかえし)

### CD文庫

CD文庫第8弾!  
憲法にちなんだ  
多彩なオリジナル  
6曲と、26ページ  
のエッセイ集。  
(¥1,000)



#### 平和の暦

-Peace Almanac Singers

- 1 平和の暦
- 2 九条の風
- 3 えんねさんの  
ジャガイモのすりやき
- 4 ピースサイン・ピクニック
- 5 メープルシロップ
- 6 水に流すな

### 会場ご案内

